

安全な学校生活 ————— 幸せな学校生活

学校安全共済中央会が共に歩みます



安全で
幸せな
学校生活

学校安全共済中央会が
共に歩みます。



Contents

...



本機関について	4
沿革	5
事業紹介	6
• 予防事業	
• 共済事業	
• 学校安全共済制度の運営・支援事業	
• 対外広報及び国際交流事業	
主な成果及び実績	13
全国の市・道学校安全共済会	14
SSIFサービスのご案内	15

本機関について



学校安全共済中央会は「学校安全事故の予防及び補償に関する法律」第28条に基づき、学校安全事故予防事業と学校安全共済事業を効率的に遂行するために2007年9月20日教育部長官によって設立されました。

“ 皆が安全で幸せな学校 ”

「皆が安全で幸せな学校」というビジョンを掲げ、設立以来、全国570万人の学生、保護者及び教職員の心強い支えとなるべく努力してまいりました。

ビジョン及びミッション

VISION

教育セーフティネットの強化を先導する学校安全専門機関

MISSION

安全な教育環境づくり及び教育セーフティネットの強化

核となる原則及び目標

専門性

第4次学校安全事故
予防基本計画に基づく
予防事業の推進

コミュニケーションと和合

学校安全共済
制度の発展のための
先制的な支援

革新と変化

学校安全専門
機関としての
成長基盤づくり

責任と信頼

共済事業の運営による
幅広い教育セーフテ
ィネットの構築

学校安全共済中央会の歩み

2007~2010

2007. 9. 1.

学校安全法、施行令、施行規則の施行

2007. 9. 12.

中央会理事会、学校安全共済補償再審査委員会の構成

2007. 9. 20.

学校安全共済中央会の設立

2009. 9. 1.

死角地帯共済事業(学校賠償責任、学生寮、青少年活動安全共済事業)の施行

2010. 4. 1.

在外韓国学校における安全共済事業の施行

2011~2014

2012. 2. 1.

学校安全コールセンター(1688-4900)の構築

2013. 3. 1.

学生寮安全共済事業における市・道共済会の移管

2015~2018

2015. 3. 1.

学校安全情報センターの構築

2015. 11. 18.

相談支援などに関する諮問委員会の構成

2016. 1. 2.

共済給与不正受給申告センターの運営

2018. 11. 1.

法律諮問団の構成

2019~2021

2019. 9. 4.

学校安全教育専門機関の指定

2020. 2. 20.

学校安全共済中央会事務室を移転(ソウル市麻浦区)

2020. 3. 1.

生徒安全体験教育施設の設立・運営支援事業の施行

2021. 5. 4.

大学情報公示(保険加入現況)遂行機関の指定(教育部長官)

2022~現在

2022. 10. 18.

大学安全事故補償共済事業の施行

2023. 5. 12.

第6代鄭勳理事長就任

2023. 7. 13.

教育部、市・道教育厅と共に学校安全事故予防共同事業の施行

2023. 9. 18.

創立16周年記念 学校安全国民広報キャンペーン及び発表式の開催

2024. 1. 15.

学校安全共済中央会事務室を汝矣島に移転(ソウル市永登浦区)

2024. 1. 22.

学校セーフティネット構築業務協約の締結(韓国教育放送公社(EBS)、ハンファシステム(株))

2024. 6. 26.

2024教育活動連携安全教育コンテンツ試演会

2024. 7. 11.

学校安全子供広報大使の委嘱

2024. 8. 5.

SBS、クロギ探求生活-安全探求編(1324回) 放送出演

2024. 9. 24.

創立17周年記念、2024世界学校安全カンファレンス及び博覧会の開催

2024. 10. 14.

学校安全支援システムの試験的運用

2024. 11. 29.

学校安全事故統計発展フォーラム

2024. 12. 6.

統計庁より国家承認統計作成機関に指定

2024. 12. 11.

大学安全事故補償共済、300の大学加入達成

2024. 12. 18.

ウェブアワード코리아2024公共分野及び公共安全分野で大賞を受賞

2025. 4. 23.

第16回東京教育総合博覧会(EDIX)2025への参加及び日・韓学校安全国際セミナーの開催



予防事業

学校安全事故予防における共同事業推進

「学校安全事故の予防及び補償に関する法律」に基づく学校安全事故予防事業運営の連続性及び実効性を確保するため、教育部、市・道教育庁と共に持続的な学校安全政策の推進及び発展方を模索しています。



学校安全事故予防における基本計画樹立支援

「学校安全事故の予防及び補償に関する法律」に基づき、教育部長官が3年ごとに樹立する国家単位の学校安全事故予防基本計画の樹立及び施行を支援しています。

学校現場中心の安全教育活性化支援

生徒及び教職員、教育活動参加者など、学校現場の特性に合った安全教育の充実及び活性化を支援しています。

- 安全教育コンテンツの開発・普及
- 新技術(メタバース、VR)基盤の安全教育コンテンツの開発・普及
- 体験中心の教職員安全教育支援
- 多文化、特殊学校における安全教育支援事業
- 学校安全教育専門講師の人材プール運営・支援



体験中心の充実した安全教育支援

学生及び教職員が安全事故発生時に迅速で適切な危機対応能力を発揮できるよう、全国の市・道教育庁が運営する学生安全体験館において、国内で唯一、専門コンサルティングを支援しています。また、島嶼・僻地の学生たちを訪問し、安全体験教育も支援しています。

- 学生安全体験館設立・運営支援事業
- 訪問安全体験教育支援事業

※ 総合型(15館)、小規模型(13館)、教室型(79館)、移動型(8館)、計115館の設立・運営を支援



子供交通安全文化の拡散及び交通環境の改善

近年増加している子供の歩行交通事故の危険性に伴い、学生の安全な登下校の環境づくりのための交通安全広報キャンペーン及び予防事業を運営しています。

- 対国民通学路交通安全広報キャンペーン
- 地域基盤交通環境改善事業の運営
- 登下校時交通安全マッピング(Mapping)システムの運営



種別ごとの防災対策の確立

学校構成員が中心となる防災訓練を支援し、学級別の防災教育資料の開発・普及に努めています。

- 学生主導の防災訓練の運営及び支援
- 学校での危険要因発掘・改善事業
- 防災教育コンテンツの制作・普及

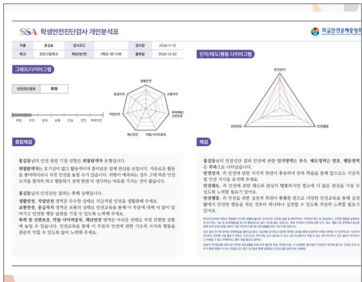


学生安全自己診断(SSA)ツールの開発

SSA(学生安全自己診断)は、全国の小・中・高校生の安全意識と安全行動における能力を強化するために開発された診断ツールで、教育部の学校安全教育7大標準案をもとに製作され、学生一人一人の安全関連性向を分析し、体系的かつ効率的な安全教育を支援します。

構成及び結果

- 安全関連気質・性向の結果を点数ではなくタイプ別に表現
- 学校安全教育7大標準案領域をダイアグラムで視覚的に分析
- 安全認知、安全態度、安全行動に関する統合分析
- 学生向け安全教育及び学校安全政策におけるフィードバックシステムの構築



学校安全政策の研究及び新規事業の発掘

学校安全における問題と現況を分析し、学校現場の意見を反映して実効性のある政策を発掘し、これを土台に新規事業を企画・実行し、カスタマイズ型安全政策と革新的な事業モデルを開発します。

- 学校安全政策の研究及び企画
- 学校安全関連問題の分析及び対応戦略の策定
- 学校安全教育及び予防プログラムの強化



学校安全支援システム構築・運営

学校安全と関連する14のシステムを統合して、より効率的な学校安全事故予防業務の実施を支援します。ユーザーが中心の統合支援体系を構築・運営することで学校現場での効果的な活用が可能となります。

学校安全支援システム www.schoolsafe24.or.kr



国家統計(学校安全事故統計)の管理

学校安全事故関連データを体系的に収集・分析し、国家承認統計として管理し、これを通じて学校安全事故の予防及び政策確率に活用できます。

- 学校安全事故予防の実態調査
- 学校安全事故データ分析・活用競進大会開催
- 統計発展フォーラム運営を通じた研究及び政策開発の支援



共済事業

大学安全事故補償共済事業

大学で発生する安全事故による学長の法律上の損害賠償及び学生の被害に対して補償します。

大学安全事故補償共済の利点	
大学予算の削減効果	大学情報公示の連携
民間保険会社に比べ最小の経費を適用した合理的な共済料を提供	教育部指定の大学情報公示の項目別管理機関で、安全管理情報の連携による行政を簡素化
随意契約による効率的な行政推進	オンラインシステムによる処理過程の確認
共済中央会は国家事業を委託・遂行する機関で、加入金額に関係なく随意契約が可能	オンライン上で事故通知及び共済給付請求を行うため、進行状況や事故件数など申請者による確認が可能

圏域・市道別の大学安全事故補償共済加入現況 (2025年 3月 31日基準、337校)			
137	84	63	53
首都圏	嶺南圏	忠清圏	湖南圏



大学安全事故補償共済について

青少年活動安全共済

青少年修練施設や青少年団体で行われる活動中に発生した安全事故による被害を迅速・適正に補償します。

- 青少年修練施設
- 被共済者：青少年、一般利用者
 - 補償対象
 - 青少年修練活動中に発生した安全事故により被共済者が被った生命、身体、財物に対する被害
 - 被共済者による第三者の人的・物的被害
- 青少年団体
- 被共済者：青少年、青少年指導者、青少年活動参加者
 - 補償対象
 - 青少年団体活動中に発生した安全事故により被共済者が被った生命、身体、財物に対する被害
 - 被共済者による第三者の人的・物的被害

青少年活動安全共済(修練施設)について

青少年活動安全共済(団体)について

学校賠償責任共済

教育活動中に発生した賠償責任*事故により、学校構成員が負担する法的な損害賠償責任を軽減します。
*賠償責任：他人の権利を侵害した者がその損害を弁償する法的責任

- 補償範囲
- 教育活動または教職員労務業務*関連事故による第三者の人的・物的被害
 - 教育活動又は教職員労務業務*関連事故による教職員及び教育活動参加者の車両破損被害
 - 学校管理下の学生携帯品の紛失・破損被害
 - 「食品衛生法」第101条に基づく学校長に課された過料
- *刈草作業、ゴミの分別、学校給食の調理、その他学校長の指示に従い行う労務業務

学校賠償責任共済について

在外韓国学校の安全共済

在外韓国学校で教育活動中に学生及び教職員に発生した事故被害を補償し、在外国民に対する權益保護と安定した学校運用を支援します。

- 補償範囲
- 教育活動中に発生した安全事故により学生と教職員が被った人的被害
 - 学校長が管理する業務が直接の原因となり発生した疾病被害



学校安全共済制度運営・支援事業

学校安全共済制度改善方案研究

共済制度運営上の不備な点を把握して改善方案を備えることにより、学校安全事故による構成員間の紛争を最小化し、迅速な被害回復を支援するために関連分野の専門家を中心に現況調査及び問題点を分析して改善方案を準備します。

- 学校安全法上の障害等級判定の詳細基準に対する妥当性検討研究
- 学校安全法令改正事項の検討

学校安全共済料の算定基準告示支援

「学校安全法」第49条第3項に基づき共済料算定の合理的な基準を提示し、市・道学校安全共済会の安定した共済事業運営を支援します。

学校安全事故補償共済事業業務の便覧製作・普及

学校安全事故に対する迅速・適正な補償の実現及び統一的な業務処理のために業務便覧を製作して普及し、学校安全関連法令改正事項、最新判例など共済制度運営関連事項をアップデートして提供します。



学校安全事故補償共済事業の業務便覧▶

法律基盤業務遂行ガイドの提供

市・道学校安全共済会の運営及び補償業務の支援のために法律諮問団を構成・運営し、質疑回答及び裁決事例、判例などを随時提供して補償業務の体系的遂行を支援します。

- ▶ 学校安全事故の予防及び補償に関する法律解説書
- ▶ 学校安全共済の質疑・回答及び裁決事例集



学校安全共済補償再審査委員会の運営

「学校安全法」第62条に基づき、各市・道学校安全共済会補償審査決定に不服を申し立てる再審査請求を審理・裁決するために学校安全共済補償再審査委員会を運営します。

市・道学校安全共済会職員の能力向上のための教育支援

学校安全共済会職員の職務能力向上及び業務効率向上のために、需要者のニーズに合わせた職級別、職務別の教育課程を運営し、業務遂行に必要な職員教育を実施します。



市・道学校安全共済会協議会の運営

市・道学校安全共済会担当者協議会及びワークショップの運営を通じて、市・道共済会の主要懸案及び改善課題など主要問題及び懸案事項に対する情報共有の拡大及び協力体系を構築します。



相談支援などに対する諮問委員会の運営

国立学校及び在外韓国学校の学校安全事故被害者のための相談及び心理治療支援を通じて心の回復を支援します。

教員保護共済事業の運営支援

教員保護共済事業の円滑な運営のために電算システムを構築・運営し、法律に関する質疑応答及び判例分析を支援します。また、業務担当者を対象に定期的な専門教育を実施して、運営事例集と約款解説書を製作し実務を支援します。

- 教員保護共済事業業務担当者の教育、ワークショップの運営
- 教員保護共済事業業務処理情報システムの運営
- 法律専門家による法律支援
- 教員保護共済事業の運営支援マニュアル、広報資料標準案の製作



学校安全共済制度の案内及び各種クレームの相談専門担当窓口を通じて、クレームに対応します。

学校安全コールセンターの 1688-4900

対外広報及び国際交流事業

学校安全広報大使

学校安全共済中央会は学校安全広報大使と共に学校安全の重要性を知らせ、学校安全文化を活性化して安全で幸せな学校作りのために努力しています。



学校安全文化の拡散

学校安全広報キャンペーンや博覧会など各種国内外の行事を通じて学校安全に対する社会的関心を誘導し、安全な教育環境の造成に持続的に取り組んでいます。

- 2023学校安全対国民広報キャンペーン及び宣布式、2024世界学校安全カンファレンス及び博覧会の開催
- 安全な学校公募展の開催
- 朝鮮日報<子供が幸せです>学校安全体験ブースの運営
- 第22回大韓民国教育博覧会の参加及び学校安全事故予防体験ブースの運営
- 第16回東京教育総合博覧会(EDIX)2025への参加及び日・韓学校安全国際セミナーの開催



学校安全制度先進化のための海外先進事例の調査・研究

先進国の学校安全関連機関訪問を通じて学校安全政策に関するベンチマーキング要素を発掘し、学校安全主要問題である学校暴力、教権侵害など先進国の対応を調査するために国外体験研修及び海外先進事例の調査・研究を進めます。



学校安全共済中央会が先導し 学校安全の未来を切り開いてまいります

<div>...</div> <div></div> <div>教育部-市道教育厅-学校安全共済中央会 学校安全事故 予防共同事業施行 2023. 7. 13.</div>	<div>...</div> <div></div> <div>統計庁指定 国家承認統計作成機関 2024. 12. 6.</div>
<div>...</div> <div></div> <div>ウェブアワードコリア2024 公共分野及び公共安全分野 大賞受賞 2024. 12. 18.</div>	<div>...</div> <div></div> <div>学校安全総合ポータル 学校安全支援システム 新規オープン 2025. 1. 1.</div>
<div>...</div> <div></div> <div>在外韓国学校安全共済 15か国29校加入 2024. 12. 31. 基準</div>	<div>...</div> <div></div> <div>大学安全事故補償共済への加入 337校達成 2025. 3. 31. 基準</div>

全国市・道学校安全共済会

学校安全共済中央会

1688-4900

ソウル特別市学校安全共済会

1670-4972

仁川広域市学校安全共済会

032-437-7900

京畿道学校安全共済会

1588-5255

忠清南道学校安全共済会

041-640-8451~4

世宗特別自治市学校安全共済会

044-320-3318~9

全羅北道特別自治道学校安全共済会

063-239-0864~7

光州広域市学校安全共済会

062-380-4277~78

全羅南道学校安全共済会

061-260-5792~3

大田広域市学校安全共済会

042-616-8742~3

江原特別自治道学校安全共済会

033-244-9850~5

忠清北道学校安全共済会

043-252-7109

慶尚北道学校安全共済会

1899-7752

蔚山広域市学校安全共済会

052-210-5543~4

釜山広域市学校安全共済会

051-867-3990

慶尚南道学校安全共済会

1811-9060

大邱広域市学校安全共済会

053-231-0924

済州特別自治道学校安全共済会

064-711-1711~3

SSIFサービスのご案内

学校安全共済中央会について
オンラインで詳細をご確認ください



学校安全共済中央会ホームページ
www.ssif.or.kr





学校安全支援システム
www.schoolsafe24.or.kr





ネイバーブログ
blog.naver.com/ssif2007





インスタグラム
www.instagram.com/ssif2007





ユーチューブ
www.youtube.com/@학교안전tv





フェイスブック
www.facebook.com/ssif2007



交通アクセス



ソウル特別市永登浦区 国会大路74キル4KC TOWER7、8階 学校安全共済中央会
TEL : 02-793-5015, FAX : 02-793-5016

学校安全コールセンター 1688-4900